

畑の健康診断でナバナ根こぶ病を予防

～畑の健康診断用 AI アプリ「HeSo+（ヘソプラス）」の開発～

畑の健康診断用 AI アプリ「HeSo+（ヘソプラス）」を開発しました。診断結果をもとに、食用ナバナの重要病害である根こぶ病の予防対策を行うと、根こぶ病の発生を回避でき、防除コストの削減も期待できます。

1 成果の内容

- (1) 食用ナバナに発生する根こぶ病は、根にこぶを作り、生育不良や減収を引き起こす重大な病気です。ナバナ根こぶ病の発病リスクを診断できる、畑の健康診断用 AI アプリ「HeSo+（ヘソプラス）」を農研機構ほか、関係機関と連携し、開発しました。
- (2) ナバナ根こぶ病の診断項目は、①前年の発病程度、②菌密度、③セル苗検定による発病程度、④土壌 pH、⑤陽イオン交換容量、⑥EC と⑦前年に栽培したナバナ品種の根こぶ病抵抗性程度や⑧近隣圃場の根こぶ病発生状況の 8 つです。
- (3) 診断結果をもとに、食用ナバナの栽培開始前に予防対策を行うことで、発病を回避できます。発病リスクに応じた対策を選択できるので、防除コストの削減につながります。
- (4) 「HeSo+」は、千葉県が担当したナバナ根こぶ病のほか、アブラナ科野菜根こぶ病、ネギ黒腐菌核病、バーティシリウム病害、卵菌類病害、青枯病に対応しています。



根こぶ病で生育不良になったナバナ（右枠）



ナバナ根部のこぶ



スマートフォン上の「HeSo+」トップ画面

2 普及の状況

「HeSo+」は令和5年4月に農家、企業、技術普及・試験研究機関向けに販売が開始されました (<https://hesodim.or.jp/hesoplus/>)。千葉県では、安房地域の生産者と全農ちば、JA 安房、安房農業事務所、農林総合研究センターが連携し、試験的な運用が始まっています。

3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター

暖地園芸研究所 生産環境研究室 0470-22-2603(代)

4 掲載年月 令和6年1月